

2019年度 南足柄市立岡本小学校グランドデザイン くすのきプラン 2019

学校教育目標

「一人ひとりの笑顔が輝き、家庭・地域に開かれた学校」
～ 知・徳・体・意欲のバランスの取れた子どもの育成 ～

知 かしこい子

～『あたま』づくり～ 問題の解決に向けて、自ら進んで学ぶ子ども

徳 やさしい子

～『こころ』づくり～ 思いやりの心で人に接する心豊かな子ども

体 たくましい子

～『からだ』づくり～ 体力の向上を目指し、ねばり強く取り組む子ども

意欲 たかめあう子

～『やるき』づくり～ 相手の立場を尊重し、主体的に学ぶ意欲的な子ども

スローガン 「学び続けるチーム岡本小」

めざす学校像 「学び続ける学校」

3つの柱

学び続ける子ども 学び続ける教師 学びを支える環境

<学び続ける子ども>

- 【かしこい子】
問題解決に自ら進んで取り組む子ども
- 【やさしい子】
思いやりのある心豊かな子ども
- 【たくましい子】
体力の向上をめざす粘り強い子ども
- 【たかめあう子】
主体的に学ぶ意欲的な子ども

学校を
あたたかく
照らす
保護者

学び続ける学校

<学び続ける教師>

- ・子どもの教育的ニーズに応え、意欲を高める授業力と指導力
- ・豊かな人間性と社会性、コミュニケーション能力
- ・思いやりの心を育てる学級経営、道徳教育の充実
- ・健康・体力づくり
(体育学習、給食指導、保健指導の充実)
- ・不祥事の防止
(声かけ、報告・連絡・相談・確認)

<学びを支える環境>

あいさつ
早寝・早起き・朝ご飯
目を見て「聞く・話す」
テレビ・ゲームの時間決め
宿題・読書の習慣化

学校を支える
あたたかい地域

2019 年度 道徳教育基本方針 南足柄市立岡本小学校

- 1 学校教育目標 「一人ひとりの笑顔が輝き、家庭・地域に開かれた学校」
～ 知・徳・体・意欲のバランスの取れた子どもの育成 ～

知 かしこい子

～『あたま』づくり～ 問題の解決に向けて、自ら進んで学ぶ子ども

徳 やさしい子

～『こころ』づくり～ 思いやりの心で人に接する心豊かな子ども

体 たくましい子

～『からだ』づくり～ 体力の向上を目指し、ねばり強く取り組む子ども

意欲 たかめあう子

～『やるき』づくり～ 相手の立場を尊重し、主体的に学ぶ意欲的な子ども

2 学校経営方針及び本年度の努力点を踏まえて

学習指導要領第 1 章総則には「学校における道徳教育は、特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通じて行うもの」と示されている。全面実施 2 年目となる「特別の教科 道徳」の実践を進め、道徳教育の充実を図る。

- ・道徳の時間の指導を充実し、道徳的実践力の向上を図る。また、諸活動を通して児童の自己肯定感を育成する。
- ・学校・家庭・地域と連携して「いじめを許さない学校づくり」に取り組む。
- ・生命を尊重する態度や思いやりの心を育てる。

3 道徳教育の改善・充実に向けた基本方針と具体的取組

(1) 指導の方向性の明確化と全職員が共通理解のもとでの指導の充実

- ・アンケート調査等を行い、児童の実態を把握するとともに、保護者の願いや教育行政方針を踏まえ、岡本小学校としての道徳教育の方向性を明確にする。
- ・学校教育目標の徳育の項目は「思いやりの心で人に接する心豊かな子ども」であることから「豊かな人間性」と「関わる力」の育成を道徳教育目標とし、伸ばしたい道徳性として、全学年共通の重点目標を次の 4 項目とする。

① 明るくきもちのよいあいさつができる子

B－礼儀

② 相手の気持ちを考え、美しい言葉遣いをする子

D－生命の尊さ B－親切、思いやり

③ 約束やルールを守り、規範意識を持って行動する子

A－善悪の判断、自律、自由と責任 C－規則の尊重

④ 自分のよさ、友達のよさを認め、協力し合える子

B－友情、信頼

- ・さらに、各学年の実態を踏まえて、各学年が、発達の段階に応じた学年目標及び育てたい力を設定する。

- (2) 道徳的価値に裏打ちされた人間としての生き方について自覚を深め、よりよく生きるための道徳的実践力の育成
- ・年間指導計画を活用し、各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び学校行事等の体験活動の学習で、意図的に道徳性の育成を図る。また、道徳の時間では各教科、総合的な学習の時間及び特別活動と関連を図って指導することで、道徳的価値の補充、深化、統合を図る。
- (3) 学校及び地域の特色を生かした指導計画の確立と実践
- ・諸行事の体験活動や講演会などを通して、情操教育の充実を図る。
 - ・幼小中の12年間を見通した南足柄市の一貫教育の方針に基づき、幼小中連携による基本的な学習習慣と生活習慣の定着を図る。

4 道徳の時間の指導の改善・充実に向けた具体的取組

- (1) 教材や人物に対する多様な立ち位置を生かした発問を組む
- ・ねらいに迫ることができるように、教材や人物に対する多様な立ち位置を生かした多面的・多角的に考えられる発問の組み立てによる授業づくりの実践
 - ・教材のもつ道徳的価値を基に、人間としての生き方の自覚が深められるための授業づくりを次の観点を意識して実践する。
 - ① 児童にとって魅力ある資料、効果的な資料の選定
 - ② 教材研究に基づいた中心発問と補助発問の決定と発問構成の工夫
 - ③ 教材の内容理解や思考の援助となる提示資料の工夫と作成
 - ④ 学習の流れや重点が分かる板書計画と工夫
 - ⑤ 自分の考えを書き込め、考えの深まりが分かる補助教材の工夫と作成
 - ⑥ 伝え合い、深め合うことめざした話合いの工夫
 - ⑦ 学習を振り返り自己を見つめることができる掲示物等の作成と掲示

5 道徳教育の充実・改善に関わるその他の具体的取組

- (1) 児童の変容を見取るためのポートフォリオの蓄積
- ・学校行事や体験活動の実施後、まとめた感想などをポートフォリオとして蓄積し、自己の心の成長を知ったり、児童の心の変容を見取ったりするための参考資料とする。
- (2) 道徳の時間に活用した資料の保存と活用
- ・授業で活用した学習指導案や提示資料などは、所定の場所に整理して保存するとともに、次年度に活用していく。また、板書などは電子データに保存し活用できるようにする。
- (3) 家庭・地域との連携
- ・保護者や地域の方に道徳の授業公開を積極的に行い、道徳教育に理解を深めてもらうとともに、学校・家庭・地域が連携して生徒の育成に携わる一助とする。
- (4) 道徳教育全体計画の工夫・改善
- ・別葉を作成し、各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び学校行事等の体験活動の学習により、意図的に道徳性の育成を図れるようにする。